

共生力

HP: <http://ajciee.or.jp/>

Tel : 055-269-6533 Fax: 055-269-6534

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-32-16

甲府丸の内マンション 302

発行人：黒田文男

第4次宋慶齡基金会 教育交流代表団の受入 第2回日中音楽教育 交流会の開催

日中の教師が静岡で交流



富士見小学校音楽室での第2回日中音楽教育交流会

10月29日(日)～11月1日(水)の4日間、静岡県磐田市を中心に、「第4次宋慶齡基金会教育交流代表団」の受入が行われました。これは教育交流受入事業としての取り組みで、「宋慶齡基金会及び基金会が推薦した東平県の音楽教師と音楽教育を中心とした教育交流・研修を行う。」「第2回日中音楽教育交流会を開催する。」を、具体的な目的として行われました。訪日代表団は、宋慶齡基金会基金部項目総合所長の劉さんを窓口、山東省泰安市東平県教育局の全面的な協力の下に編成されました。また、「第2回日中音楽教育交流会」については、第1回と同様に、日本中国国際教育交流協会・中国宋慶齡基金会・東平県教育局の三者の共催とい

う形で、団のメンバーは、団長として宋慶齡基金会事業発展李部長、同じく基金部公益項目所趙副調査研究員、山東省泰安市東平県教育局学生出資援助



音楽室での授業観察の様子

センター史主任、同じく第二実験小学校呉校長、東原実験学校李音楽教師、商老庄乡中心小学張音楽教師、大羊鎮中心小学史音楽教師の7名でした。

代表団の受入については、協会の理事でもある静岡県教組の鈴木委員長の全面的な協力を得て行われました。音楽交流会は、昨年度「第1回交流会(東平県で開催)」に参加していただいた神谷校長先生・安藤主幹教諭の勤務する磐田市立富士見小学校を会場に行われました。

代表団は、「第2回日中音楽教育交流会」当日の30日(月)、9時30分に、富士見小学校に到着しました。校長室で挨拶後、さっそく図書室で神谷校長先生による学校の概要説明がありました。10時30分から11時15分までは、4年生の音楽の授業、1年生の図工・音楽、4年生の外国語活動、5年生の体育、6年生の算数・国語と授業参観を行いました。そして、11時25分(4校時)からは、いよいよ安藤主幹教諭による「第2回日中音楽教育交流会」のための実践発表が5年3組の授業として行われました。題材名は、「曲想を味わおう(まっ赤な秋)」で、目標は、「旋律や記号、歌詞を根拠にし、どのような工夫をすると曲想の変化を表現することができるか考え、歌唱表現にいかしている。(音楽表現の創意工夫・表現の技能：歌唱)」でした。学習の展開は、1. 発声練習をし「まっ赤な秋1番」を歌う。2. 前時を想起し、学習課題をつかむ。3. グループで後半の表現を工夫する。4. 全体を2グループにし、聴き合う。5. 曲想にふさわしい歌い方を意識して、全員で歌う。6. 学習の振り返りを書く。でした。安藤主幹教諭の落ち着いたリードのもとに、児童達が授業者との強い信頼関係の「安心」



安藤教諭の音楽授業の様子

に裏打ちされた態度でこの授業の目標に向かって取り組んでいました。

13時30分に行った「音楽教育交流会」の意見交換会の中で中国の

先生方から「素晴らしい音楽教育の実践だ」という発言や「日本の音楽教育の水準はとても高い」「中国は日本に学ばなければいけない」という感想もあり、お互いにとても良い交流会となりました。



ダンスタイムの様子



給食試食の様子

富士見小学校への訪問では、授業参観の他に全校児童による「ダンスタイム」の参観と参加や給食の試食も行いました。代表団の皆さんは大いに満足し、また、とても有意義な訪問になったと話していました。

富士見小学校での音楽教育交流の日程を終え、代表団は、磐田市庁舎に向かい、渡部磐田市長・村松磐田市教育長を表敬訪問しました。磐田市のイメージキャラクターである



磐田市長・教育長表敬訪問の様子



静岡県知事表敬訪問の様子

「しっぺい」をプレゼントされるなど大歓迎を受けました。また、31日（火）には、ヤマハのピアノ工場を見学した後、静岡県庁において川勝知事を表敬訪問しました。川勝知事は、宋慶齡基金会の井副

主席と親しく、自身が訪中したときの思い出など大いに日中交流の話が盛り上がりました。

代表団は、公式な日程を全て終了した後の31日（火）の午後から11月1日（水）の午後の離日までは、浅草・秋葉原・上野などを散策したり、ショッピングをしたりして、大いに日本を見聞してもらいました。羽田でお別れをするとき「来年は是非とも東平県へお越しください。そして、私達の学校の音楽の授業を見てください。」と、何回も話していました。実り多い訪日団受入となりました。関係者の皆様ありがとうございました。

『第6回教育交流ホームステイ』今年度も千葉県で実施



千葉県教育会館での記念写真

「中国人留学生の日本語学習の一助として、日本家庭でのホームステイを体験し、ホストとの交流を通して日本語の語学力を磨き、日本人及び日本文化に対する理解を深め、日中両国の友好の礎を担う人材を育成すること」を実施目的として取り組んできた「教育交流ホームステイ」が、第6回となりました。今年も、千葉県の先生方の協力を得て、8月4日（金）から6日（日）の2泊3日で行いました。千葉県内各地域の7家庭のホストファミリーに、中国からの留学生（日本語研修生）7名が、ホームステイしました。

ホームステイ日程

8月4日（金）

新宿駅に集合→千葉へ、千葉県教育会館でホストファミリーと合流→それぞれ活動にうつる

8月5日（土）

ホストファミリーごとの取り組み（各ホストの計画と学生の要望による体験等）

8月6日（日）

午後千葉県教育会館へ集合→ホストファミリーとのお別れ会・総括会→新宿駅で解散

全体交流会でのお話や感想、アンケートや感想文からは、7人の留学生・ホストの7家庭とも「とても貴重で忘れられない有意義な時間を過ごせた」とのことでした。千葉駅行きのバス停で、突然何人かの留学生が歓声を上げました。「何か？」と尋ねたら、「赤岡さん、私達、無意識のうちに日本語で話をしていました」と笑いながら答えてくれました。「日本に来て中国語とばかり聞いて、中国語で話しているから、この3日間はとても新鮮でした。」と大いに成果があったことを実感していました。

お知らせ

教育交流・研究助成事業

『第3回日中教育文化交流シンポジウム』

日時 2018（平成30）年3月3日（土）

14：00～16：30

場所 日本教育会館9階第5会議室

内容 日中両国青年によるパネルディスカッション・意見交換